

恒温水槽取扱説明書

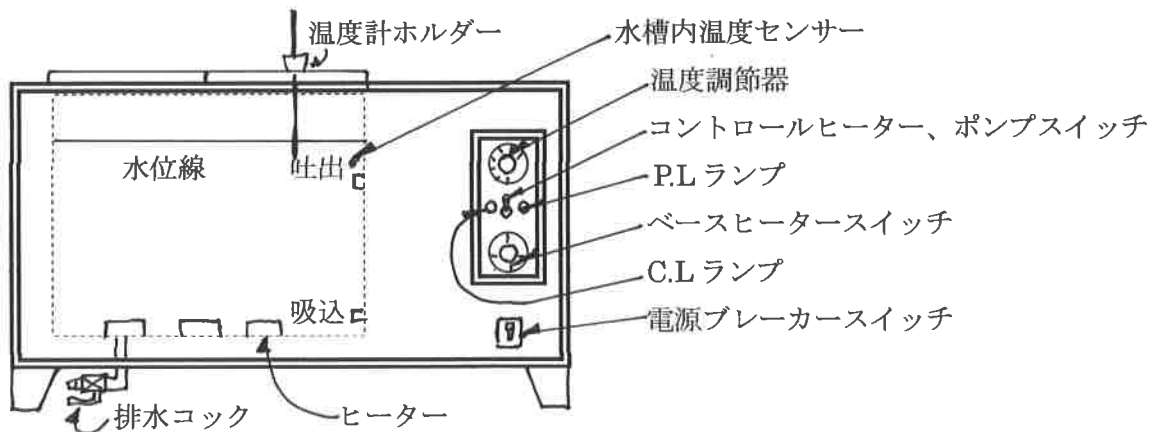
準備

- 電源が仕様通りの電圧、電流であるかどうか確認してください。
本器 単相 AC 200V 50/60Hz 30A 以上の電気容量のある電源。
- アースは必ず行ってください。

【 運転前の注意 】

- 運転前には必ず、水槽内温度センサーが完全に浸るまで水を入れてください。 温度計ホルダーに温度計を装着します。
- ※ 水を入れずに運転を行いますと、ヒーター及びモーターの空炊運転となり本器破損になります。

【 運 転 】



- 1・電源ブレーカースイッチを ON にしてください。P.Lランプ緑が点灯。
 - 2・温度調節器ダイヤルを廻し、希望運転温度位置に合わせます。
- ※ 本器の運転最高温度は70℃です。70℃より高い温度で運転しますと本器の破損につながります。
- 3・コントロールヒーター、ポンプスイッチを ON にします。ポンプ運転同時にコントロールヒーター750W が ON します。C.Lランプ赤が点灯。
 - 4・ベースヒータースイッチは、コントロールヒーターだけでは補えない温度を補助する為のヒーターです。
- ※ ベースヒーターも、コントロールを行います。
LOW-375W MID-750W HIGH-1500W OFF
御使用温度に応じてベースヒータースイッチを切換えてください。
- 運転後は、必ずコントロールヒーター、ポンプスイッチ及び、ベースヒータースイッチを OFF にします。その後、電源ブレーカースイッチを OFF にします。本器左側面下の排水コックレバーを手前に引き排水し終了してください。

恒温水槽

【恒温水槽の使用上の注意事項】

- 1) 本器使用前には必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
 - 2) 本取扱説明書は大切に保管して下さい。
- ※ 本取扱説明書は、使用される方の安全と機器の故障を予防する為に、次の三段階の言葉で表現していますので、特別な注意をはらって下さい。

【警告】 重度の怪我や、人命に係わる原因になるような重要な内容。

【注意】 機器の損傷を防ぐ方法や、軽度の怪我を防ぐための重要な内容。

【注記】 注意しなければならない内容。

【警告】

- 本器は、防爆構造設計されてはいません。室内に揮発性の高い物や発火物、可燃物を入れて運転しないで下さい。爆発、火災事故の危険があります。
- 本器を設置、運転される場所は換気のよい場所で使用して下さい。可燃性蒸気や高圧ガスが使用場所に発生した場合、爆発、火災事故の危険があります。
- 本器の周辺に揮発性の高い物や発火物、可燃物を置かないで下さい。爆発、火災事故の危険があります。
- 本器の運転中は、本器周辺、天蓋周辺が高温になります。直接身体に触れますと火傷事故につながります。耐熱手袋など身体の保護をして使用して下さい。
- 本器のアースは、必ず行なって下さい。感電事故の危険があります。
- 本器の電源コードは、単相 AC200V, 3 0 A 以上の電気容量がある電源に接続して下さい。電気容量がたりませんと火災事故の危険があります。

【注意】

- 本器の温度設定最高温度は 120℃になっておりますが 7 0℃以上で運転しますと本器の故障につながります。
- 本器の運転の前には、必ず室内のセンサーが浸る程度の水か湯を入れてから運転開始してください。水を入れずに空炊運転しますと本器破損になります。
- 本器室内底板部分に直接品物を乗せないで下さい。本器故障につながります。品物は必ず棚台を使用してください。
- 深夜運転など本器の使用者が不在での運転は、機器の故障がまねく損傷や事故につながります。本器運転の際には管理、使用者の立会いの上で使用して下さい。

【注記】

- 電源コードを差込む、又は接続する際は接触不良などないようにしっかりと行なって下さい。火災事故の原因になります。
- 本器電気制御部分のほこり等を掃除する場合は、必ず本器への電源の供給を遮断してから行なって下さい。感電事故につながります。
- 本器底部には、排水用の配管がありホークなど差し入れは禁止してください。